

来年の全国大会へ飛躍を誓う
全国ソフトテニス大会でスマッシュ！

4月10日、全日本小学生ソフトテニス大会（千葉真白子町開催）に参加した4選手が町長室を訪れ、大会成績を報告し、来年の全国大会への飛躍を誓いました。

4年生以下の部門には、全国各地から156チームの強豪が参加し、河野斗夢君と佐藤雪路君ペアは予選リーグを全勝で突破、ベスト32に入りました。上杉昌輝君と細川源生君ペアは大会の雰囲気呑み込まれ、予選リーグ全敗と残念な結果に終わりました。

4人は全国大会を振り返り、「3位以内の目標を達成できず悔しい」「来年も全国大会出場を目指して頑張りたい」と話してくれました。

佐藤多一町長は「悔しい思いをしたと思うけど来年に向けて練習を頑張ってください。」と激励の言葉を4人に送りました。



町長室を訪れた【右から】河野君・佐藤君・上杉君・細川君

全日本リコーダーコンテストで快挙
活汲中学校が念願の金賞に輝く

3月28日、東京で開催された全国リコーダーコンテストで活汲中学校が、中学生合奏の部で念願の金賞を獲得、小学生合奏の部でも3年連続で、銀賞を受賞しました。今回の大会には韓国、台湾の海外を含め約120チームが参加しました。

5年越しの金賞獲得に地域や学校関係者からは祝福の声が上がっています。

3月30日、全国大会の報告に訪れた岩崎勝悟君（現中学1年生）は「銀賞は残念だったけど楽しく演奏できました。」

山岸胡桃さん（現高校1年生）は「今回の金賞受賞はたくさんの方に応援してもらったおかげです」と佐藤多一町長にお礼を述べました。



念願の金賞を獲得した活汲中学校、町長室で喜びの報告

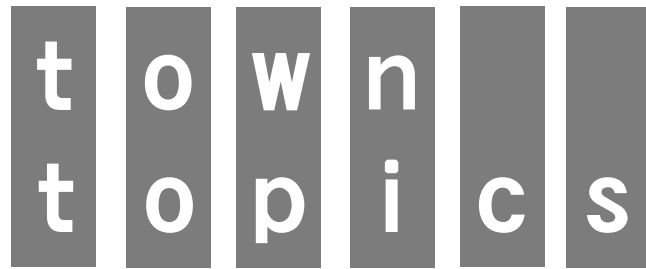
地域力を住民と行政の力で
90人が参加したまちづくり講演会



3月27日、町民会館でまちづくり講演会（津別町自治会連合会主催）が開催され、講師の矢ヶ崎紀子さん（日本総合研究所主任研究員）が「住民と行政の協働で地域力を高めよう」をテーマに講演しました。

矢ヶ崎さんは「地域を一番知っている住民こそがふさわしい地域づくりができる。地域社会の維持と充実には総力戦です」と訴え、公園づくりプロジェクトを成功させた熊本県旧宮原町や廃校を宿泊施設として運営させた広島県安芸高田市川根地区などで頑張っている事例を紹介しました。

会場を訪れた方は矢ヶ崎さんの話を熱心に聞き入り、地域力の大切さを学びました。



まちのわだい

狭心症や心筋梗塞の原因と予防
健康はつらつ講演会開催

3月22日、中央公民館で健康はつらつ講演会（町自婦連、赤十字奉仕団共催）が開催され、参加した約140名は、心臓病をはじめ生活習慣病について学びました。

初めに町の石崎佐枝子保健師が「心臓病で倒れる前にはこんな病気が隠れている」をテーマに、高血圧や狭心症、心筋梗塞などの生活習慣病で多くの高齢者が入院、通院している現状を報告しました。



次に、津別病院の日下貴文副院長が「胸痛をきたす疾患について」をテーマに狭心症や心筋梗塞など胸痛の原因と予防について講演がされました。

そして、胸痛の原因を自己診断できる設問を紹介し、診察を受けるときには、胸痛が起きたときの状況や頻度をくわしく医師に説明するように呼びかけました。

新山準一さんより善意の寄付
町の地域防災に願いを込めて



4月3日、津別町字幸町の新山準一さんが町長室を訪れ、町の地域防災のために役立ててほしいと多額の寄付をされました。

新山さんは「消防団で50年間お世話になり、今年消防庁長官表彰をいただいたこと、両親が津別町で83年間お世話になったことに對して感謝を込めて寄付をさせていただきました」と話してくれました。

寄付を受けた佐藤多一町長は「多額の寄付をいただきありがとうございます。町のために大切に使用させていただきます」とお礼を述べていました。

新入学生の安全な登下校を願い
津別町防犯協会が防犯ベルを寄贈

4月3日、津別町防犯協会（水上博会長）の関係者が教育委員会を訪れ、新入学生50人分の防犯ベルを寄贈しました。今年の防犯ベル「身の用心」は子どもの手のひらに収まる小型サイズで、ストラップを引くと大音量で危険を知らせます。水上会長は「新入学生の登下校の安全に活用してほしい。」と話してくれました。7年連続の寄贈に阿部教育長は「見守り隊としてもご協力いただき感謝しています」とお礼を述べました。



新年度を迎え、ホテルフォレスターではゆきどけ豆腐鍋をメニューに追加し、残雪が残るフォレスターで温泉と一緒に楽しんでほしいと呼びかけています。

木綿と絹豆腐を昆布のだし汁で煮込むと豆腐がとけだし、のど越しがよくプリンを食べているような食感。豆乳や湯葉も楽しめ、お腹に優しくとてもヘルシー。これはだし汁に意味があります。ゆきどけ豆腐鍋は4月限定プランですが、好評につき5月も続けることになりました。勝矢浩敏料理長は「サービス価格でお待ちしています。とろける湯豆腐を皆さんに味わってほしいです」とPRしました。



とろける食感が大好評！
フォレスターに新メニュー登場

津別町の作品が3年連続入賞
迫田成美さんが知事賞受賞

4月11日、小学生を対象にした林野火災予防のポスター部門で北海道知事賞に入選した迫田成美さん（現中学1年生）に山



火事予防対策協議会の席上で佐藤正敏副町長から表彰状と記念品が伝達されました。

全道1317作品から選ばれた迫田さんのポスターは、山火事の恐ろしさが一瞬に伝わってくる各審査員からも高い評価を受けました。

入選した迫田成美さんは「火の怖さをみんなに知ってもらいたい気持ちで描きました。知事賞がもらえてとてもうれいです」と笑顔で話してくれました。